

2023年度

科目名称	生活活動論基礎
授業コード	AE204
英語名称	Foundation of Abilities of Daily Life
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	竹嶋 理恵 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	日常生活活動（ADL）の基本的概念を理解し、作業療法士の役割および他職種との連携方法について学習する。日々繰り返される基本的な活動と、社会参加や余暇活動等、対象者により多種多様に異なる活動・生活様式に対する基本的な評価・訓練等の援助方法を学習する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	作業療法士として臨床経験のある教員が、実務経験に基づき生活活動に対する作業療法支援の方法について講義する。
到達目標	<p>本科目はカリキュラムポリシーに掲げる「基礎作業療法学や評価学、治療学、管理学などから、作業療法の実践を学ぶ科目【専門科目】」に該当し、以下の4つを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日常生活活動の概念と範囲について理解し説明することができる。 2) 各生活活動の構成要素を述べ、作業を分析することができる。 3) 生活活動に関する作業療法評価と支援の概要を説明することができる。 4) 生活活動に関する作業療法評価と支援の立案を実施する能力を身につける。
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 日常生活活動の概念と範囲 2) 日常生活活動に対する作業療法支援 3) 日常生活活動の評価 4) 日常生活活動の観察と記録 5) 日常生活活動の支援（起居） 6) 日常生活活動の支援（移動） 7) 日常生活活動の支援（食事） 8) 日常生活活動の支援（整容） 9) 日常生活活動の支援（更衣） 10) 日常生活活動の支援（入浴） 11) 日常生活活動の支援（睡眠・栄養・身体活動） 12) 日常生活活動の支援（家庭生活行為） 13) 日常生活活動の支援（その他） 14) 日常生活活動の支援（コミュニケーション） 15) まとめ

2023年度

計画・内容	
授業の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1) スライド、配布資料、教科書・動画等を用いて講義を行う。 2) 理解を深めるために、必要に応じて演習を行う。 3) 具体的な評価と支援方法について理解を深めるために、随時課題を与える。
能動的な学びの実施	生活活動における評価と支援について理解を深めるために、必要に応じて演習を行う。
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前にあらかじめ教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと。 ・授業後に教科書、配布資料を確認し、講義ノートを整理すること。 ・生活活動に関する作業療法の基本的知識についてまとめること。 合計60時間程度
教科書・参考書	<p>【教科書】 濱口 豊太 編集 標準作業療法学専門分野 「日常生活活動・社会生活行為学」 第2版（医学書院）2022年</p> <p>【参考書】 柴 喜崇 下田 信明 編集 PTOTビジュアルテキストADL 第2版（羊土社）2021年 伊藤 利之 ほか 編集 新版 日常生活活動（ADL）第2版 評価と支援の実際（医歯薬出版）2020年 酒井ひとみ 著・編集 作業療法技術全書 日常生活活動 改定第3版（協同医書出版社）2009年 木之瀬隆 編集 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト「日常生活活動学（ADL）」（メジカルビュー社）2016年 石川 朗ほか 編集 15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト ADL・実習（中山出版）2021年</p>
成績評価方法と基準	授業で提示する課題や小テスト30% + 定期試験70%により評価する。
課題等に対するフィードバック	学生の発表や質問の都度、コメントを行う。 授業の中で提出された課題へのフィードバックを行う。
オフィスアワー	CampusSquare を参照
留意事項	本科目は必修科目です。 後期の「生活活動論応用」に続きます。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 ・Zoomによるオンライン授業を実施する。 成績評価方法と基準 授業中に提示する課題や小テスト50% + 定期試験に代わるレポート50%